

越嶺会報

令和2年(2020年)5月10日

第88号

発行 越嶺会本部

〒930-8555(富山市五福3190)

富山大学経済学部内

☎(076)445-6411(ダイヤルイン)

Fax(076)445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ

越嶺会

検索



2020年3月24日 学位記授与式(経済学部玄関前)

目次

経済学部長就任挨拶 森岡 裕 …………… 2	各支部だより …………… 10
母校だより …………… 3	関東越嶺会講演会・新年会
教員の異動	東海支部第1回ゴルフコンペ
定年退職、特命講師から講師へ、転出	同窓会連合会の行事案内 …………… 12
卒業 福井学部長式辞	総会・ホームカミングデー
橋本越嶺会長祝辞	越嶺会総会は中止します …………… 12
入学 地域別入学者数	会員の訃報 …………… 13
経済学部資料室だより	富山大学基金だより …………… 14
本部だより …………… 8	住所変更お知らせください …………… 16
叙勲お祝い 寄付金御礼	
越嶺会新年会	
寄贈図書紹介・御礼	



経済学部長就任挨拶

森 岡 裕

このたび、四月より一年間の任期で経済学部長を務めることとなりました。越嶺会の皆様には、日頃から経済学部にも多大なご支援を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

まず、経済学部の新しい執行部メンバーをご紹介します。副学部長は高山龍太郎教授（経済学科）、評議員は橋口賢一教授（経営法学科）です。学科長は、金奉吉経済学科長、岩内秀徳経営学科長、香川崇経営法学科長です。これら新執行部のメンバーと経済学部教職員と一丸となって、経済学部の一層の発展に努力いたします。

組織について少しふれさせていただきます。昨年度の後期より教分離（教員組織と教育組織の分離）が行われ、経済学部の教員と極東地域研究センターの社会・経済系の教員は、社会科学系という教員組織に所属することとなりました。教育組織としての経済学部は従来通りです。これまでも経済

学部と極東地域研究センターは連携して教育・研究を行ってきましたが、組織的な一体感がより強くなりました。

学部教育ですが、前任のお二人の学部長（中村和之先生、福井修先生）のもとで実施されたカリキュラム改革が三年目を迎えます。ゼミナール教育の拡充（一年生から四年生までゼミナール教育を実施）とともに、アドバンスト・プログラムの本格的な実施の年となります。「国際ビジネス」「金融・財務」「行政マネジメント」の三つのプログラムからなり、将来の進路を見据えてより高いスキルを身につけたい学生のための教育プログラムとなっています。このプログラムに参加者への支援（留学支援）では、越嶺会スカラーシップ（奨学金・九十周年での学部への寄付金）を活用させていただいております。グローバル化に対応できる人材を育成することは経済学部にとって重要な使命の一

つとなっており、越嶺会の皆様のご協力をいただいで、このプログラムの充実を図ってまいります。

またこのプログラムは、昨年度に行いました外部評価委員会（令和元年十二月十六日、令和二年二月四日開催）においても、委員として参加いただいた橋本洋二越嶺会会長より高い評価をいただきました。なお同委員会の委員として参加いただいた中村昌弘越嶺会東海支部長（前名古屋銀行頭取）からは、地域貢献の観点から地元とのプラットホーム作りをゼミ教育のなかで行っていけば良いのではとの提言をいただきました。このようなお助言をもとに、教育・人材育成に力を入れていきたいと考えております。

国際交流関係では、台湾の開南大学商学院・人文社会学院との間で締結されたダブルディグリー・プログラムを発展させていきたいと考えています。現在はコロナウイルスの影響で留学や国際交流の実施が困難な状態ですが、中国がアメリカとならんで経済大国としての影響力を拡大していることは周知の通りです。このような状況のもとで、中国語圏の大学に留学して学位をとってくるこの意味は小さくありません。地域に貢献しグローバルに活躍できる人材を

育成するうえで、重要な方向と言えます。

大学院については、人文学部、人間発達科学部、経済学部、芸術文化学部の大学院を大括り化した人芸芸術系大学院を形成する方向で改革が検討されています。また都市デザイン学部と連携した文理融合連携課程の創設も検討されています。ここでは、持続可能な社会プログラム、データサイエンスプログラム、レジリエンス社会創設プログラムが検討されており、経済学部の教員もこれらのプログラムに参画・協力することになります。社会が大きく変化していくなかで、経済学部と経済学研究科に変化への対応が求められています。

このように、大学教育が大きな転換点を迎えるなかで、越嶺会の皆様からは経済学部・経済学研究科に対して暖かいご支援をいただきました。これらのご支援に対して感謝の気持ちとともに皆様の母校を預かる者としての責任を感じております。越嶺会の益々のご発展をお祈り申し上げます。今後とも経済学部へのお力添えを賜ることができまますようよろしくお願ひ申し上げます。

もりおか・ゆたか

母校だより

教員の異動

定年退職 令和二年三月三十一日付
福井 修 教授

承継職員へ転換
(特命講師から講師へ)

高木修一講師 (経営戦略論)
小池未来講師 (国際取引法)

転出 令和二年三月三十一日付
鈴木基史・教授 (財務会計)

武庫川女子大学経営学部へ

平成二年四月着任。三〇年在籍
大西吉之・准教授 (西洋経済史)

聖心女子大学現代教養学部教授
に

平成十一(一九九九) 四月着任
二十一年在籍

卒業

富山大学では、三月二四日(火)各
学部に分かれ令和元年度学位記授
与式を行なった。七五名の留学生
を含む、学部卒業生一八〇二名、
大学院修士課程修了生三五八名、
博士課程修了生四三名、専門職学
位課程修了生一三名、論文博士一

名、合計二二一七名が学位記を授
与された。

経済学部は四一一名、大学院経
済学研究科一五名であった。

内訳 昼経済学科 一三七

経営学科 一一四

経営法学科 一〇二

夜経済学科 二一

経営学科 一九

経営法学科 一六

院 地域・経済政策 九

企業経営専攻 九

また、学業成績優秀者として経
済学部では次の二名の方が学長表
彰を受けた。

昼間主コース新田航大さん、
夜間主コース山田早紀さん

経済学部では、三学科と大学院
の四回に分け三〇一、四〇一講義
室などで実施された。

はじめに、学長メッセージのビ
デオが流され、新型コロナ感染拡
大予防対策として卒業生・修了生
の健康を最優先したいため、やむ
を得ず一堂に会する式を中止とし
た。ビデオメッセージにて皆様の
門出を祝福したいと話された。

次いで、学部授与式が始まり代
表に学位記が授与され、学部長が
式辞を述べ、門出を祝った。



教員も後ろに参列



経済学科授与式開式前



式辞を聴く



経済学科授与式開式前

学位記授与式 式辞



福井学部長式辞

皆さん、ご卒業、修了おめでとうございます。今日の日を迎えられたことを、経済学部教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。また、これまで皆さんの学業を支えてこられたご家族のみなさまにも心よりお慶び申し上げます。

本年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大学全体の卒業式や、経済学部の祝賀会が取りやめになりました。皆さんにとっては誠に残念な結果となり、誠に申し訳なく思います。しかし、そうした式典の取りやめによって、皆さんが学業を終えて卒業修了したということの価値は全く減るものではありません。学業を終えるために払われた皆さんのご努力に改めて敬意を表したいと思います。

さて、新型コロナウイルスについてはどこまで影響が及ぶかはまだに判然としませんが、中国で感染拡大が始まりましたが、いまや

その中心はヨーロッパやアメリカに移り、今後他の国にどのように波及していくかも予測がつかません。世界各国の株価も大暴落し、経済面でも今後さらに悪影響がでてくるものと思われれます。一つの地域で始まった感染がこれほど短期間に、これほど急激に拡大していく状況を見るにつけ、グローバル化が進展していることと、そのマイナスマ、脆弱性も考えさせる契機になったように思います。

こうした状況の中で巣立っていく皆さんはどうすればよいでしょうか。私から皆さんに対して一つだけアドバイスしたいと思います。それは、どんな状況の時でも、自分ができることを準備することが大事だということです。

先日亡くなった野村克也氏は私の敬愛する野球の解説者です。弱かったヤクルト球団を監督として三度も日本一に導きました。その著書の中で、バッターボックスに入るまでにいかに準備をしたかで勝負が決まるとして、準備の大切さを強調していました。イチローも野球の天才だと言われますが、それと同時にすべてのことを周到に準備していたこと、準備のプロセスを怠らなかつた点で、他の選手とかけ離れていたことが紹介さ



経済学科代表へ授与



経済学科授与式開式



金・経済学科長から個々人へ授与



学長表彰 学生答辞 新田航大君

れていました。アスリートにとって、準備は特に必要なものかもしれませんが、すべての仕事においても準備することは重要だと思えます。

多くの場合はそれなりの準備期間があるはずですが、しかし、現実には準備不足になってしまう場合が多いです。私の経験でも、うまくいかなかった要因は、多くの場合準備不足でした。

例えば、ゼミで経験したと思いますが、当日という資料を準備するかは重要です。次に、当日という質問が出るか、どう回答するか、想定問答を考えておく作業があります。想定問答の中には、資料自体に反映させた方がよい項目があるかもしれません。つまり、想定問答を考えるとすることはプレゼンテーションの内容を客観的に見つめ直すということ。想定問答を考え、資料をアップデートするという繰り返しで、プレゼンテーションの品質は上がります。

これからは、ゼミの先生や仲間の顔を職場の上司に置き換え、あの上司ならどういう点について質問するかを考えて、対応する資料を追加し、回答を考えておく。

あるいはお客様の顔に置き換え、あのお客様はどういう要望があるかを考えて、それに対応する商品

やサービスを留意し、要望に沿った説明を考えておく。それぞれの場面で予測をたて準備をすればよいわけです。

準備行為の一つ一つは大したことではないかもしれませんが、それを積み重ねておくことが大事だと思います。また、十分な準備をしておくとその心余裕にもつながり、落ち着いた対応ができて、好印象を与えます。

さて、今日から富山大学経済学部は、皆さんの母校です。二万人を超える先輩たちが築き上げてきた地域や人との繋がりは、皆さんにとってこれからの人生を生き抜く財産になるでしょう。

しかし、社会に出たとき、人生の節目で思い悩むことがあるかもしれません。そんなときには、皆さんがかけがえのないときを過ごした五福キャンパスを訪れ、自らを振り返り、新たな道を切り拓くきっかけとしていただければと思います。

皆さんの将来が実りの多きものであることを心から願っています。経済学部の式辞といたします。

令和二年三月二四日

富山大学経済学部長
富山大学大学院経済学研究科長

福井 修



経営法学科代表へ授与



経営学科代表へ授与



大学院経済学研究科修了生



大学院経済学研究科代表へ授与

越嶺会長祝辞



橋本会長

皆さん、卒業及び修了おめでとうございます。今日までの成長を支えて

こられたご家族の皆様の喜びもひとしおかと存じます。

また、学生を教育、ご指導いただいた福井学部長はじめ教職員の皆様に改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

思い起こせば、私の期の卒業式は四月でありました。五十年前の四月に入学しましたが、当時は大学紛争の真最中で、全学部がストライキ中でした。授業、講義が始まったのは、一年生の十一月くらいでした。

四年間の在学中、通算一年間を超える学部のストライキで、通常の講義はスムーズに行なわれず、勿論まとまらな夏休み等はほとんどなく、集中講義の連続で、卒業に必要な単位・授業日数を確保し、全員が四月に卒業できました。当時、ほとんどの学生は既に入社した会社で勤務しており、四月の卒業式には参加出来ませんでした。

今回は、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない為、誠に残念ですが、富山大学全体の学位

記授与式は中止となりました。残念なことは思いますが、皆様には、今後それぞれの新たな道に希望をもって進まれることを願ってやみません。

さて、経済学部の同窓会・越嶺会について少しふれておきます。現在同窓会員数は、富山大学経済学部、旧制高岡高商、旧経営短大、大学院を含めて25,000名超になっています。

女性会員も年々増えており、入学者数で見ると、直近の平成三一年は四〇%弱となっております。少子高齢化、人口減の中、更なる女性の社会進出が求められる昨今、徐々に五〇%に近づいていくものと思われます。

越嶺会の主な行事は、五月の富山での本部総会、関東、関西、東海、石川、福井、東北の各支部は定期に支部総会を開催。ほか神戸、静岡などは不定期に開催する支部総会がメインです。

同じ大学、学部で学んだ者同士が、これを一つの絆として親しく交流し、親睦を深め、新しい絆を結んでいけるよう、富山、全国六支部等の総会を今後活用していかれることを願っております。

さて、四年後の二〇二四年、経済学部は旧制高岡高等商業学校以



黒講前で記念撮影



剣岳壁画前記念撮影 (岸本先生)



黒田講堂前



経済学部前風景

学生研究論文集ESTUDIO

復刊第十二号(通巻第四三三号)

二〇二〇年三月発行

発行 富山大学経済学部ゼミ

ミナール協議会

後援 越嶺会(富山大学経済学部同窓会)

学部同窓会)

福井修・経済学部長が巻頭言を寄せ、中村和之・元学部長が審査の経過と講評を載せている。

優秀論文四編と入賞二編を掲載している。

女性の社会進出

河原崎佑梨・佐竹成美・松浦真優・三澤佑香 雨宮ゼミ

小電力発電の普及における

制度と事業主体の課題

石井雄也・小島将裕・長松航平・堀太雄也・前川郁斗・町田雅和 矢島ゼミ

北陸地域の空き家対策の比較検討

―富山・石川・新潟三県六市を対象に―

藤井亮太・城越英明・竹川瑛人・土井涼平・町田遼太・三宅真人 矢島ゼミ

人口減少地域における観光資源の活用・関係人口の創出

山本征英・大村知明・末石航也・田村寛太・中澤昌美・得能彩加・南 佳歩 中村(和)ゼミ

外国人労働者の受け入れについて

栗原裕輝 大坂ゼミ

コンビニエンスストアの二四時間営業の是非に関する考察

二村哲生 小柳津ゼミ

経済学部資料室だより

「大熊信行文庫」所蔵資料の紹介



「都萬麻乃之遠里」(つままのしおり)

田邊武松編著、A5判八二頁、昭和一二年一二月五日発行、非売品一五二部作成。

表紙題簽は都萬麻の經木扉印は天平年間越中國府に使

用した「越中國印」の模寫

およびツマママの葉を化学処理し葉脈を漉き込んだもの、妻子共々で作業した。

高岡高等商業学校蔵書 昭一三年一月二〇日 野村書店より購入

北國新聞記者、田辺武松が連載記事『万葉時代の越中：伏木を中心に』を執筆の翌年に単行本にまとめたもの。万葉研究に関わる權威、郷土の著名人も題字や稿を寄せている。「脱稿より出版まで」には「歌人にして高岡高等商業学校教授大熊信行先生より題歌を頂戴したことは全く光栄と感激に堪えない次第である。」とある。

高岡で歌誌『まるめら』を編集発行し自ら全国の同人に送付していた大熊信行が、歌人として郷土万葉研究の一助となっていたことがわかる。

一冊目の増刷を止め、その後の研究成果を取り入れて二冊目として左記を発行した。

『越中萬葉かたごの花』

田邊武松編著A5判二七三頁、昭和一七年三月一五日発行 非売品三〇〇部作成

田辺武松(1886.10.14-1951.4.21)

元大聖寺藩士田辺圃衛の末子として生まれ、小樽で米穀商を営み大正三年に伏木へ転住。米穀肥料問屋、海運業等を営む。伏木町会

議員ほか公職に関係し、伏木商工会書記長、新聞記者(北國新聞)。

越中万葉、伏木郷土研究を行う。昭和一三年大陸戦線に従軍。

越嶺会報85号(2018.12.1)訂正

七頁一段八行目

(誤) 加藤三朗さん

(正) 加藤三朗さん

(神奈川大学大熊ゼミ生・詩人)

(神奈川大学山本新ゼミ生・詩人)

卒業論文を

お返しします。

返却ご希望の方は、卒業年とお名前を越嶺会事務局までお知らせください。

(メール、Fax、はがき、手紙、電話等で。)

郵送料はご負担ください。

受け取られた後、受領書とともに切手にてお返しください。

なお、短大の方はありません。

本部だより

越嶺会新年会を開催

日時 二〇二〇年一月三〇日(木)
午後六時〜九時
会場 富山第一ホテル・ルミエール

重原佐千子さん(54回)の司会で進行。

橋本洋二・越嶺会会長が、新型コロナウイルスなど暗い話題が多いが、バスケットの八村や大相撲の朝乃山の活躍があり応援していきたい、と開会挨拶。

中尾哲雄・最高顧問の乾杯発声挨拶では一思わぬことで足を怪我

叙勲お祝い

江藤雅雄様(二〇回)は、令和元年度秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。誠におめでとございました。

寄付金御礼

左記の方々からご寄付いただきました。御礼申し上げます。

- 二一回 橋本洋二様 二万円
- 二二回 穴田 茂様 一万円

したが、気にかけないで欧州に出掛けて無事帰ってきた。いたって元気だから心配無用」と、いつもの「中尾」節で元気付けてもらった。

このあと、福井修・経済学部長から大学・学部の状況、とくに九〇周年での越嶺会からの寄付金使途について説明があった。

また、鈴木基史・前富山大学理事副学長からは学長交代で理事を退任し、フランスやイタリアの美術館を廻ってきたと近況報告があり、場内は一瞬「ほー」「へー」と意外そうな反応があった。

食品ロスを無くそうと、はじめの三〇分、終わりの一〇分は席について食事をしようと案内し、し



ばし各テーブルで歓談。やがて各卓を行き来して挨拶・懇談がしげくなった。

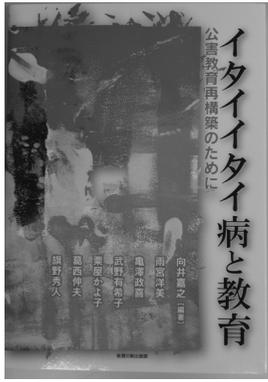
そろそろお開きの時間も近づいてきた頃、中尾さん、橋本会長、殿村さん、鳥居さん、鈴木教授も壇上上がった。越嶺会恒例の「ふるさと」を皆で歌うことに。中尾さん作詞の4番5番も歌うと案内すると、中尾さんから、「頼まれて沖縄編も作った。」

うちなんちゅう皆やさし
首里城赤く輝いて
ここに生きようふるさと」と披露され、拍手を受けられた。

出席者

- 八回 中尾 哲雄
- 十二回 小橋 啓一
- 十七回 上埜 進
- 十八回 遠藤 敏之
- 十九回 竹田 勝
- 二〇回 寺林 敏
- 二一回 釜谷 春雄
- 二二回 橋本 洋二
- 二二回 鳥居由美子
- 二二回 蘭守 貴弘
- 二四回 堀田 正之
- 二六回 吉野 哲哉
- 二七回 確井 光一
- 二八回 鶴瀬 初弘
- 二九回 桑原 幹也
- 三〇回 山田 吉晴
- 三一回 寺松 信宏
- 三二回 竹野 博和
- 舟崎 友晶
- 古川 裕行
- 高月 均 修
- 澤合 文雄
- 米原 俊孝

「イタイイタイ病と教育」公書教



著者の雨宮洋美准教授から寄贈
いただきました。

寄贈図書紹介・御礼

- 三四回 長津 輝彦、山瀬 孝
- 三六回 川端 宏典、杉本 正人
- 三六回 深田 清就
- 三八回 大波 加肇、殿村 幸子
- 二〇回 二口 洋
- 四〇回 赤川 浩一
- 四一回 金瀬 正志
- 四三回 浜畑 早苗
- 四九回 沖 よし子
- 五四回 重原佐千子、松原 隆光
- 五九回 園部 佑樹
- 短 浦田 竹昭
- 十六回 院 九回 福井 幸博
- 二〇回 荻布 彦
- 経済学部長 福井 修
- 経済学部教授 鈴木基史

育の再構築のために

向井嘉之編著雨宮洋美ほか著
A5判三三八頁、二〇一七年四月
三〇日 能登印刷出版部発行
一七六〇円

二〇一六年五月のG7環境相会議に向けて、越嶺会が二〇一六年三・四月に開催した「イタイイタイ病の残された課題」市民とアカデミズムの役割」と題する講義と質疑応答、ワークシヨップの成果も収めてある。

松田弘様(学部十五回)から寄贈



「ボンボヤージュ」

松田弘著 A5判一〇一頁
二〇一七年八月二六日発行
商社マン(安宅、伊藤忠)生活
中に三度の海外駐在、四〇カ国以上に出張した経験の中から綴った

富大名誉教授・桂木健次様から



「里山からの告発」『呉羽丘陵健康とゆとりの森整備事業』を検証する」富山県自然保護団体連絡協議会編／河野昭一・桂木健次監修
A4判一八一頁、一九九四年七月
松香堂書店発行

「富山大学体育会50周年記念誌」同記念大会実行委員会・二〇二〇年三月発行。A5判90頁
二〇一四年五月に開催した50周年記念大会・祝賀会等の模様を記録したものです。



記念大会参加者、記念誌購入希望者に郵送した。希望者には一部三千円で頒布する。

少人数での会合、短信もお寄せください。

「越嶺会報」の発行は5月10日、12月1日です。投稿随時受付中。

会報発行協力金のお願い

低金利のため越嶺会基金から果実が生じない状況です。財政支援のお気持ちで同封の振込用紙で送金いただければ有り難く存じます。勝手ながら、三年分三千円以上をおくりいただけると助かります。

なお、例えば、宛名シールの右下に「感謝 協力金お振込み(R二年まで)」と印字してある方は、令和二年分までいただいていますので、ご放念ください。振込用紙も入れておられます。

また、高商の方には入れておりません。永年のご支援に感謝します。

各支部 ・各回だより

各支部総会の開催日

関西支部、東海支部、石川支部は
総会開催を取りやめます。

関東越嶺会

講演会・新年会を開催

令和二年一月二五日(土)正午文京
区白山の東京富山会館会議室にて、
多くの卒業生と関係団体の方々が
参加して開催されました。
飯塚修代表幹事(学部二五)の
司会で進行。

はじめに福田哲郎会長(学部十
八回)が開会の挨拶「来賓・関係
団体・会員へ寒中での来場に謝意。
今回は初めて土曜の昼間開催とし
た、年配から若手までゆつくりと
できるのではないか。富山出身の
大相撲朝乃山、バスケット八村の
大活躍は嬉しい話題である。関東
越嶺会は今年九〇周年となる、九
月の総会は多くの会員に参加願
いたい。」と話しました。

講演会の講師は、元富山大学経
済学部教授の武井勲氏。武井氏は、
昭和五十二年より二〇年間、富山
大学でリスク・マネジメントの研
究並びに学生指導をされました。
現在は、武井勲リスク・マネジメ
ント所長等、この分野のパイオニ
アとして国内外で活躍されていま
す。



武井先生

武井氏は「大手損保会社に入社
し、まだ確立されていなかったリ
スク・マネジメントの分野にどう
して興味を持ったのか。その後の
富山大学では、ゼミナールや大学
院、国際会議等で礎を構築してき
た、学んだことは多い。自然災害
はじめ不確実性の今、政治・企
業・組織のリーダーはリスク管理
能力を持っていなければならな
い。」等々説明をされました。

第二部の新年会は、塚光雄副会
長(学部十一回)のユーモアある
挨拶と力強い乾杯発声で開始され、
同窓との賑やかな懇談が始まりま

した。懇談の中、東京富山県人会
連合会の土肥常務理事のスピーチ
を頂戴しました。土肥氏は、参加
者に連合会誌「富山と東京」と
「東京朝乃山後援会」が発足した
ことをPRされました。
最後に永井雅律副会長(学部二
一回)の閉会挨拶と三本締めで、
盛會裏にお開きとなりました。
今回は、武井先生のゼミ生も多



懇親会

数参加され、多くのゲスト・会員
に参加いただき、賑やかで楽しい
新年会となりました。

当日の出席者は、次の通り。
講師 武井勲先生

来賓・報道

土肥正明・東京富山県人会

連合会常務理事

平尾外志雄・仰岳会

阿部浩之・平岡良隆 葉窓会

会員(学部)

- 二回 折橋 禮一
- 五回 澤井 政夫、中保 公英
- 六回 浦嶋 稔、木村 昌治
- 七回 本村 正忠、中島 正彦
- 八回 島田 雄達、松井 脩
- 九回 高土 哲夫
- 九回 三室 廉夫、重田 直彦
- 九回 宮前喜久次、上埜 博基
- 十一回 石出 宗秀、塚 光雄
- 十二回 清水 道夫、飯田 捷政
- 十四回 中川 一紀
- 十四回 渡邊 慶孝
- 十八回 福田 哲郎、盤若 義一、
- 野村 邦雄、浜田 等
- 二一回 永井 雅律
- 二二回 竹澤 喜孝
- 二二回 平方 睦男
- 二二回 飯塚 修、宮下 佳蔵
- 二五回 長谷川 敦
- 二六回 高須 康之、忠 吉春
- 二七回 穴井 基弘



コンペ参加者15名

- 二八回 林 明宏、草野 圭司
- 西垣 栄一、吉田 正克
- 森 秀貴、米山 勉
- 三一回 柿本 浩和、伊東 春生
- 三三回 長江 幸伸、伊東 春生
- 三五回 山本英一郎
- 三六回 鹿島 裕史
- 四〇回 米田 義隆
- 五七回 三善 広昭
- 飯塚 修 (学二五) 記

**東海支部第一回の
ゴルフコンペを開催**

東海支部(中村昌弘支部長二二回)では例年七月に総会・懇親会を開催していますが先輩・後輩と

の新たな繋がりを深めるために、ゴルフ部会を創立しました。昨年の総会で希望者を募りゴルフ部会登録者は二七名。その方達を中心に、去る令和元年十二月一日(日)岐阜県多治見市の愛岐カントリークラブにて記念すべき第一回越嶺会東海支部ゴルフコンペを開催しました。

十二月とは思えない暖かい日の中、初めて一緒にプレーする同窓の先輩・後輩と親睦を図りながら楽しいひと時を過ごしました。表彰式では支部長の中村(ゴルフは欠席)から記念すべき第一回のコンペ参加へのお礼の挨拶の後、表彰・懇親会を行い、最後に白石ゴルフ部会長(三六回)の少しづつ参加者を多くしていきたいとの言葉で閉会しました。

優勝は小杉健二さん(二二回)ベストグロスは中島弘人さん(三一回)

- 参加者(敬称略)
- 二二回 磯部義金、小杉健二
 - 二八回 大野輝文、加藤 敦
 - 三一回 中島弘人
 - 三二回 高見 功
 - 三四回 田邊孝平
 - 三六回 白石憲生、中島英登
 - 三八回 豊本裕司
 - 三九回 石田 尚、犬飼貢司
 - 四七回 倉地博之、近澤 保

六一回 田口寛道

因みにゴルフ部会の事務局は白石部会長、中島英登さん、倉地博之さんの三名で初めてのコンペ企画を大成功に纏めて頂き感謝申し上げます。

尚、次回は令和二年夏から秋にかけて予定します。初めての方参加大歓迎です。お問い合わせ先

白石憲生
Tel 080-6904-6463
倉地博之 (株)ワキタ商会内
Tel 052-251-5227
中村(二二回 記)

同窓会連合会の行事

総会
七月十六日(木) 午後六時
富山電気ビル
記念講演は橋本洋二・越嶺会会長
ホームカミングデー
(杉谷・医学部担当)
十月二四日(土) 午後一時
杉谷キャンパス大学祭に合わせて開催。
会場は日医工オーデトリウム

—今年令和2年度の越嶺会総会は取りやめます。—

4月10日現在、富山県でも感染者が増えております。大勢の人の集まる催しは、飲食を伴わなくとも取りやめることとしました。ご了解ください。
事業報告・決算・事業計画・予算については会長副会長会議において決済しすめることとし、12月の会報に報告します。

会員の訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

卒業回	お名前	ご命日	卒業回	お名前	ご命日
高商16回	林 孝一	令 2.1.3	学部9回	吉田 一郎	平 30.2.5
高商19回	鈴木 忠	平 30.10.25	学部10回	大田 俊明	平 31.1.30
	粕川 利夫	平 30.10.30		小島 哲夫	令 1.8.8
学部2回	秋元 勝郎	令 1.9.29	学部13回	小竹 宣行	平 30.9.27
学部3回	西永 久	平 31.3.22	学部16回	内藤 郁雄	令 1.5.30
学部4回	岩瀬 邦夫	令 1.8.17		栃谷 正治	平 30.9.22
	内山 俊彦	令 2.2.8	学部18回	松原 元範	平 2.1.13
学部5回	大橋 恂一	令 1.6.16	学部19回	大塚 新二	令 1.10.8
学部6回	福島 昇	令 1.10.25	学部30回	西岡 雅彦	令 1.8.8
	佐々木龍夫	令 1.11.29	学部32回	三浦 和夫	令 26.6.5
学部7回	松本 良太	令 1.10.14	学部34回	堀池 誠治	平 1.10.14
	青木 賢治	令 1.8.22	学部35回	太田 準二	令 1.10.27
	津田 哲男	令 1.6.15	学部38回	熊田 晴彦	
学部8回	山崎 進	平 31.3.23		千田 和正	平 23.3
	堀 康廣	令 2.1.16	短大1回	福村 登二	令 1.8.21

消息不明の方々です

事務局で自宅住所がわからず、会報をお届けしていない方々です。何か手がかりでも結構ですので、ご存じの方はお知らせください。(事務局)

幸後小小坂坂定佐佐三島瀬高高高高高田武立田谷津長中中中西西能橋
 高藤林林口本金竹藤藤味川上井井崎田場橋畑上田元中村田尾川嶋村保村村松野
 大美弘保晃律千 京 克恵祐 宏隆 就 留悦桂真信吾充陽仁美垂恒幸美里智
 悟雪和子一子佳暁子真彦子一健之志孝平広子久一一也郎朗子美子子美子子奈之
 安藪山山山之ノ山山山吉吉吉和 学部48回 青赤浅足荒池池梅太大小小押加神菊木北北木久久楮
 井野岸越腰下元岡澤田田 山羽見立井田戸澤田塚原川川藤崎地田川村村田田
 梨智朋辰真賢路 暢大夕 宏仁和健寛奈伸宏弘恵貴 誠智由陽大友育伸英
 絵子和郎生一子毅彦士希 実裕道司行一之枝広明之子英稔司美美介輔子子和
 高高高高竹竹田田辻土坪寺富戸中中中中中布野長馬林平星前松松宮宮村森森八
 木島橋森内中中中林田田岡澤水江川嶋西村野中川場 本 田田信坂田岡田脇尾
 光幸真裕和真 宏英貴 良孝宏智み健沙正麻健百心幹沙知大吉隆文明 徹梨
 平代樹子隆梨純幸高廣仁征充明章り二織直子史子平也絵行介泰司利子崇哉江寛
 尾尾貝海加神川河川北木木京国倉黒黒河國後小古小齊坂作櫻貞鹿嶋新相高高高
 下関沢藤藤瀬岸田端村下村本部 木田野米藤林村山藤下平井富野田保馬岡川木
 宏 和秀晃美由美 紀味理勇和一英良由一昭優大真修香繁紀瑞幸卓 里 留恵
 育美大彦弥一希学子希恵次也志智平子郎彦子介紀平子行子恵樹士光実仁睦美太
 学部47回 赤浅荒新有五石石井伊伊稲井今岩岩岩上上白白江大大大大岡岡緒岡岡奥奥
 尾野井木賀里川橋手藤藤垣上本城崎崎嶋田井田川岩重野橋橋崎田方本本野村
 陽 正真聡崇信哲晃節通悠 雅廣雅安 良智光麻信勇綯 麻 祥泰い佳哲雄
 介隆樹子美志扶也一夫朗里勝也明寿晃勉一彦弘子美一子茂子晃子宏み介朗郎

富山大学基金便り

第15号 2020.4.1発行

§ 富山大学基金の近況

富山大学基金は平成24年4月に設置され、同年8月から募金活動を始め、この約7年間に学内の教職員はもとより、企業法人の皆様方、名誉教授の先生方、事務職員のOB・OGの皆様方並びに同窓会連合会のご協力の下、各学部の同窓会の皆様方のご理解とご協力により、約2億3千1百万円のご支援を賜りました。

皆様方からのあたたかいご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げますとともに、引続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◎「富山大学基金」寄附受入状況（令和2年3月末現在）

区 分	件 数	金 額 (円)	備 考
役員・教職員	843	18,536,000	
元教職員	123	8,043,390	
在 学 生	41	555,000	
同 窓 会	1,345	33,712,580	
保 護 者	104	1,255,000	
法 人 等	613	145,845,818	
一 般	15	23,345,172	
計	3,084	231,292,960	

§ 富山大学基金の活動

皆様方からご寄附いただいた基金により、平成26年度から学生海外留学支援として、学生の留学生生活をより充実したものにするための支援を行っており、現在まで36名に支援を行いました。

これに加え次のような事業に、ご寄附を役立させ頂いておりますのでご報告いたします。

今年度も同様に事業を計画しているほか、基金による活動を今後さらに充実していきたいと考えております。

(富山大学基金学生海外留学支援プログラム奨学金受給学生からのメッセージ)



開発達科学部 4年 築谷 大輝
留学機関：インリングア バンクーバー（カナダ）
留学期間：平成30年1月～令和元年6月

この度は、富山大学基金留学支援プログラムの奨学生としてご支援いただき誠にありがとうございました。

私はカナダのバンクーバーに7ヶ月間留学しました。多文化都市バンクーバーで様々な文化や価値観に触れ、毎日が新たな発見に溢れ、貴重な人生経験を積むことができました。

知り合いがいない地での生活で、一番の心の支えになったのは人との繋がりでした。ゆっくり喋る英語すら聞き取れなかった私に丁寧に指導して下さった先生、共にレベルアップし学校外でも様々な活動をしてくれたクラスメイト、私が困っている様子を察知して声を掛けてくれた現地の方などのおかげで、充実した留学生活を送ることができ、人との繋がり是一生涯大切にしていこうと感じました。

また、英語学習者として、英語の文化や歴史をいかに知らないかということを実感しました。国際化が進み、様々な文化背景を持った方々に関わる機会が増えてくる中で、相手の文化を知っておくことは重要であり、それが良好な関係を築く第一歩になるのではないかと感じました。

この7ヶ月間はこれまでの人生で一番濃い日々になりました。この留学で得たものを、来年度から英語を扱う職場で存分に発揮していきたいと思っております。

富山大学基金便り

基金事業活動報告

ダブル・ディグリー・プログラム協定締結のための海外派遣

2019年9月12日～13日、ストラスブール大学(フランス)とのダブル・ディグリー・プログラム(薬学)に関する協定締結のため、本学職員(教員2名、事務職員2名)を派遣しました。協定締結は2020年3月末までを予定しています。

学習環境などの整備

「アクティブラーニング教室の整備」「図書館空調改修」「体育施設改修」を行いました。

富山大学グローバルSD研修

この研修は、事務職員を海外で開催される日本留学フェアに派遣し、大学の国際化推進に資する能力獲得の機会を与え、グローバル意識や英語スキルの向上を図ることを目的としています。これに令和元年度は、タイ2名、台湾1名、ベトナム2名を派遣しました。

基金寄付者特典(返礼品の贈呈)を開始

ご寄附が一定金額以上に達した方へ金額に応じて「富山大学オリジナル扇子」を贈呈することになりました。

※ 以上の報告につきましては、富山大学基金ホームページに詳しく報告しております。

インターネットによる寄付を導入しました

令和元年11月1日よりインターネット利用によるご寄附が可能となりましたので、これによりご寄附される場合は、下記「富山大学基金寄附の方法URL」から手続きをお願いします。

寄附金の申込み方法について

富山大学基金へのご寄附の方法は、以下の方法があります。

お手続き方法の詳細は、富山大学基金のホームページでご覧いただくか、下記へお問い合わせください。

- ①インターネットによるお申込み
- ②金融機関からのお振込み
- ③大学窓口でのお申込み

富山大学基金寄附の方法URL <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp/howto>

お問い合わせ先 富山大学基金事務室 〒930-8555 富山市五福3190

Tel: 076-445-6178 Fax: 076-445-6014

E-mail: kikin@adm.u-toyama.ac.jp

住所等変更通知のお願い

(FAX : 076-445-6419)

住所や姓名等に変更のあった方は、FAX でお知らせ下さい。(メール・葉書も可です)

		卒回	回	年	月卒
お名前		(旧姓)			
新住所 〒□□□-□□□□					
新電話 ()-()-()		新FAX ()-()-()			
差しつかえなければメールアドレス					
勤務先					
住所 〒□□□-□□□□					
電話 ()-()-()		FAX ()-()-()			

越嶺会

〒930-8555 富山市五福3190 富山大学経済学部内

TEL (076) 445-6411 (ダイヤルイン)

FAX (076) 445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ : <http://www3.u-toyama.ac.jp/etsurei>

e-mail etsurei@eco.u-toyama.ac.jp